

監事	木村	鹿股	林健幸(会津)	副会長	関根英樹(福島)
猪狩	本間	(磐城桜が丘)	高志(郡山北工)	副会長	橋内義雄(福島商)
長谷川浩一(西会津)	木村	浩之(原町)	健幸(会津)	副会長	遠藤
理佳(平工業)	木村	鹿股	林健幸(会津)	副会長	関根英樹(福島)



二十四年度役員等

相双地区の被災会員校へ
義援金を贈呈
全国高P連から
九百二十万円

要望事項
一 地震により破損・損壊し
た施設・設備の早期復旧
二 放射線に関わる諸調査及
ました。

四 卒業生、特に相双地区卒業
生が、東日本大震災による本県
の被災校への激励慰問を行ひ
ました。

被災校訪問
相川全国高P連会長が

全国高P連では、東日本大震災に對して、全国的に義援金の募集を行い、本県でもその第一次・第二次配分として、昨年は合わせて二千五百万円の净財を単位PTAに贈呈しました。

相双地区の被災会員校へ義援金を贈呈する要請活動を行いました。教育長からも深い理解と「しっかりと学校生活を支えたい」という言葉を頂きました。

当時は杉教育長に直接陳情書を提出、趣旨を説明して善処方を要請しました。教育長からも深い理解と「しっかりと学校生活を支えたい」といふ言葉を頂きました。

工芸部の被災校訪問について、県教育長に對する要請活動を行いました。

震災に對して、全国的に義援金の募集を行い、本県でもその第一次・第二次配分として、昨年は合わせて二千五百万円の净財を単位PTAに贈呈しました。

平成二十四年度総会は五月三十日、福島市の福島県青少年会館で開催されました。昨年は南相馬市で行われる予定でしたが、東日本大震災のために書面による開催という形で行いました。今年度は二年

ぶりに開催され構成員(三一名中一〇七名が出席(二七名の委任状含む))しました。承認・決定された議案は以下のとおりです。

- 一、二十三年度事業報告・監査報告
- 二、二十三年度決算報告・監査報告

三、二十四年度事業計画案
四、第六十一回東北地区高等学校PTA連合会福島大会の開催

五、二十四年度予算案
六、二十四年度役員・専門委員の選出及び顧問の推戴並びに派遣役員の選出

東日本大震災等で
県教育長に要望

県高P連は九月五日、関根会長はじめ副会長である各地

区会長等が参加して、「東日本大震災並びに原発事故に關わる高校教育の早期正常化対策」について、県教育長に對する要請活動を行いました。当日は杉教育長に直接陳情書を提出、趣旨を説明して善処方を要請しました。教育長からも深い理解と「しっかりと学校生活を支えたい」といふ言葉を頂きました。

三、サテライト校における教育環境の整備
ア、協力校・大学との緊密な連携と施設設備の有効活用の促進

四、JR等、公共交通機関による生徒の活動実態に応じた通学手段の確保

五、施設・設備の耐震化対策の継続と強化並びにエアコンの設置

六、生に対する求人確保等、就職促進対策の強化

七、一日に南相馬市の三校(原町高校・小高商業高校・小高工業高校)のみといふことでしたが、各校のPTA会長や校長先生と熱心に懇談されました。それぞれの単Pと学校として生徒が一体となつて活動に取り組んでいる状況等を熱心に聞く中で、改めて被害の規模の大きさ、特に原発事故の影響の甚大さなどを実感されたようでした。最後に、関係者への御慰労と激励、そして全高P連が今回の義援金贈呈だけでなく、今後も全国の被災校を支援していくことなどをして帰られました。

新会長に関根英樹氏(福島)
総会で選出

福島県高等学校PTA会報

発行所
福島県立高等学校
PTA連合会
編集者
福島県立高等学校
PTA連合会
調査広報委員会
委員長 林健幸

今年度も義援金の募集活動は行われており、その第四次配分として全国高P連から九百二十三万七百七十円の净財が恵贈されました。この義援金については、相双地区の会員校に対し、生徒数によるものと各校同一額を組み合わせて計八百五十一万円、高P連相双地区会自体の活動支援のために七十万円を九月二十八日に贈呈しました。

全国高P連顕彰受賞者

○個人表彰 渡辺 健二 県連合会会長 東北・全国高P連理事 猪狩 次夫 県連合会事務局長

東北高P連顕彰受賞者

佐藤 大和 磐城高校 副会長
代議員(健全育成委員)
志賀 則道 小高工業高校 副会長
代議員(調査広報委員)
猪狩 次夫 事務局長
代議員(総務委員)
○広報紙コンクール表彰 優秀賞 小高工業高校・川俣高校 奨励賞 福島南高校

福島県高P連顕彰者

○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 県北地区会長 修明高校 副会長 県南地区会長	渡辺 健二 福島高校 会長 理事 会津高校 副会長 (会津地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 理事 宮森 優治 会津高校 副会長 代議員(進路対策委員)	佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	酒井 民樹 会津高校 理事 小荒井善一郎 喜多方桐桜高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長)	星 長尾 好章 喜多方桐桜高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (いわき地区会長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	山内壽太郎 会津高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	伊藤 裕隆 小高工業高校 理事 (相双地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	木幡谷島 功慎司 原町高校 理事 津島猪狩 原町高校 監事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	星 浩次 磐城高校 理事 (いわき地区会事務局校長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	根本 正辰 磐城高校 理事 国府田司良 磐城櫻が丘高校 理事
○感謝状 渡辺 健二 福島高校 会長 副会長 富田 昭夫 福島高校 副会長 (総務副委員長) 滝沢 弘明 安達東高校 理事 (県北地区会事務局校長)	志賀 则道 磐城櫻が丘高校 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (相双地区会長)
○表彰状 多田 昭二 安達東高校 副会長 (県北地区会長) 渡邊 石川 福島高校 会長 理事 佐藤 大和 磐城高校 副会長 (磐城櫻が丘高校 理事)	伊藤 裕隆 小高工業高校

本県から八十人
つながりの大切さ
再確認

和歌山大会

本県から八十人
つながりの大切さ
再確認

第六十二回全国高等学校PTA連合会和歌山大会は、八月二十二、二十三、二十四の三日間にわたり、和歌山市を中心に行われました。全国から約一万人が集い、本県からは二十九校から約八十人が参加しました。この大会で、人とのつながりの大切さを響き合え！つれとも広げる共育の輪”が大会テーマで、人とのつながりの大切さを軸に、研究討論が繰り広げられました。

二十二日に大会運営会議が開かれ、本県から関根英樹会長と青木崇郎事務局が出席しました。二十三日が大会一日目で、地元高校生らによる吹奏楽、和太鼓、少林寺演武、筝曲のアトラクションに迎え

本県から八十人 つながりの大切さ 再確認

難を乗り越え、未来へ成果をつないだ“はやぶさ”プロジェクトの中心にいた川口氏の話に、参加者は感動していました。

最終日は、六つの分科会に分かれ、それぞれの研究テーマでPTAの役割について考えました。本県関係者の多くは宿泊施設が和歌山県内に確保できないなどの移動の苦労はありましたが、全体を通して素晴らしい大会でした。な

らながら、開会式、表彰式、基調講演などが実施されました。

東北大会 福島から新たなる絆発信 二年ぶりに 本県で本格開催

福島・明成の三高合同男性合唱、相馬高の和太鼓の各アトラクションが、福島県の高校生の元気をアピールし、参加者に感動を与えました。

震災と原発事故の影響が続く中で、見事に大会を成功させた本県関係者の努力に対し、各方面から多数の称賛の声が届きました。

福島県沿岸部におけるコミュニティの喪失を含めた被害の状況、自校での教育活動が困難となつたため、他校や公共施設を間借りする形で授業を行なうサテライト校方式による授業実施の様子、家や街、インフラといった私たちの生活の基盤が大きく失われ、PTA活動のための会費の徴収も困難な状態が続いたため、活動自体についても最低限必要なものに限定して行うこととなりました。

原町高の木村浩之会長が「震災に負けないふくしま、そして相双」と題し、現状と課題を報告したのをはじめ、東北各県の代表が研究発表を行いました。震災後も力強く生きる高校生やPTA活動が紹介され、有意義な研究協議となりました。記念講演は小野町出身の農学博士小泉武夫氏が「食で東北を立て直せ」と題し講話。復興にもつながる興味ある話題満載で、会場をわかせました。

橋高の管弦楽部と福島高のジャズ研究部、いわき海星高のチームじゃんがらによる吹奏楽、和太鼓、少林寺演武、筝曲のアトラクションに迎え

上げます。

研究協議発表は各県一校の六校で行われ、研究テーマに沿って発表と討論が行われました。福島県からの発表は「震災に負けないふくしま、そして相双」というテーマで、平成二十三年度のPTA活動の現状を報告させていただきました。原町高校が経験した、

東北高P連福島大会 研究協議発表について

福島県立原町高等学校
PTA会長 木村 浩之



福島県沿岸部におけるコミュニティの喪失を含めた被害の状況、自校での教育活動が困難となつたため、他校や公共施設を間借りする形で授業を行なうサテライト校方式による授業実施の様子、家や街、インフラといった私たちの生活の基盤が大きく失われ、PTA活動のための会費の徴収も困難な状態が続いたため、活動自体についても最低限必要なものに限定して行うこととなりました。

原町高の木村浩之会長が「震災に負けないふくしま、そして相双」と題し、現状と課題を報告したのをはじめ、東北各県の代表が研究発表を行いました。震災後も力強く生きる高校生やPTA活動が紹介され、有意義な研究協議となりました。記念講演は小野町出身の農学博士小泉武夫氏が「食で東北を立て直せ」と題し講話。復興にもつながる興味ある話題満載で、会場をわかせました。

そのうえで、相双地域ではいまだに自校での教育活動再開の見通しを立てるまでのところ、きない高校が多いことから、よりよい教育環境を取り戻す歩みをやめるわけにはいかないことをアピールさせていた

だきました。学校によってお

かれている状況は様々ですが、

県内のPTA会員全員が力を

結集し、あきらめず歩み続

けていかねばならないという

気持ちを新たにした大会とな

りました。

第一原子力発電所事故の影響が残る中での開催であり、特

段の努力をいただきました関

係者の皆さんに厚く御礼申し

申しあげます。

研究協議発表は各県一校の

六校で行われ、研究テーマに

沿って発表と討論が行われま

した。福島県からの発表は

「震災に負けないふくしま、

そして相双」というテーマで、

平成二十三年度のPTA活動

の現状を報告させていただき

ました。原町高校が経験した、

福島県沿岸部におけるコム

ニティの喪失を含めた被害の

状況、自校での教育活動が困

難となつたため、他校や公共

施設を間借りする形で授業を

行なうサテライト校方式による

授業実施の様子、家や街、イ

ンフラといった私たちの生活

の基盤が大きく失われ、PT

A活動のための会費の徴収も

困難な状態が続いたため、活

動自体についても最低限必要

なものに限定して行うことと

し、役員も緊急体制の形で対

応した様子などを報告しま

した。

そのうえで、相双地域では

いまだに自校での教育活動再

開の見通しを立てるまでのこ

とで、きない高校が多いことから、

よりよい教育環境を取り戻す

歩みをやめるわけにはいかな

いことをアピールさせていた

だきました。学校によってお

かれている状況は様々ですが、

県内のPTA会員全員が力を

結集し、あきらめず歩み続

けていかねばならないという

気持ちを新たにした大会とな

りました。

第一原子力発電所事故の影響が残る中での開催であり、特

段の努力をいただきました関

係者の皆さんに厚く御礼申し

申しあげます。

研究協議発表は各県一校の

六校で行われ、研究テーマに

沿って発表と討論が行われま

した。福島県からの発表は

「震災に負けないふくしま、

そして相双」というテーマで、

平成二十三年度のPTA活動

の現状を報告させていただき

ました。原町高校が経験した、

福島県沿岸部におけるコム

ニティの喪失を含めた被害の

状況、自校での教育活動が困

難となつたため、他校や公共

施設を間借りする形で授業を

行なうサテライト校方式による

授業実施の様子、家や街、イ

ンフラといった私たちの生活

の基盤が大きく失われ、PT

A活動のための会費の徴収も

困難な状態が続いたため、活

動自体についても最低限必要

なものに限定して行うことと

し、役員も緊急体制の形で対

応した様子などを報告しま

した。

そのうえで、相双地域では

いまだに自校での教育活動再

開の見通しを立てるまでのこ

とで、きない高校が多いことから、

よりよい教育環境を取り戻す

歩みをやめるわけにはいかな

いことをアピールさせていた

だきました。学校によってお

かれている状況は様々ですが、

県内のPTA会員全員が力を

結集し、あきらめず歩み続

けていかねばならないという

気持ちを新たにした大会とな

りました。

第一原子力発電所事故の影響が残る中での開催であり、特

段の努力をいただきました関

係者の皆さんに厚く御礼申し

申しあげます。

研究協議発表は各県一校の

六校で行われ、研究テーマに

沿って発表と討論が行われま

した。福島県からの発表は

「震災に負けないふくしま、

そして相双」というテーマで、

平成二十三年度のPTA活動

の現状を報告させていただき

ました。原町高校が経験した、

福島県沿岸部におけるコム

ニティの喪失を含めた被害の

状況、自校での教育活動が困

難となつたため、他校や公共

施設を間借りする形で授業を

行なうサテライト校方式による

授業実施の様子、家や街、イ

ンフラといった私たちの生活

の基盤が大きく失われ、PT

A活動のための会費の徴収も

困難な状態が続いたため、活

動自体についても最低限必要

なものに限定して行うことと

し、役員も緊急体制の形で対

応した様子などを報告しま

した。

そのうえで、相双地域では

いまだに自校での教育活動再

開の見通しを立てるまでのこ

とで、きない高校が多いことから、

よりよい教育環境を取り戻す

歩みをやめるわけにはいかな

いことをアピールさせていた

だきました。学校によってお

かれている状況は様々ですが、

県内のPTA会員全員が力を

結集し、あきらめず歩み続

けていかねばならないという

気持ちを新たにした大会とな

りました。

第一原子力発電所事故の影響が残る中での開催であり、特

段の努力をいただきました関

係者の皆さんに厚く御礼申し

申しあげます。

研究協議発表は各県一校の

六校で行われ、研究テーマに

沿って発表と討論が行われま

した。福島県からの発表は

「震災に負けないふくしま、

そして相双」というテーマで、

平成二十三年度のPTA活動

の現状を報告させていただき

ました。原町高校が経験した、

福島県沿岸部におけるコム

ニティの喪失を含めた被害の

状況、自校での教育活動が困

難となつたため、他校や公共

施設を間借りする形で授業を

行なうサテライト校方式による

授業実施の様子、家や街、イ

ンフラといった私たちの生活

の基盤が大きく失われ、PT

A活動のための会費の徴収も

困難な状態が続いたため、活

動自体についても最低限必要

のものに限定して行うことと

し、役員も緊急体制の形で対

応した様子などを報告しま

した。

そのうえで、相双地域では

いまだに自校での教育活動再

開の見通しを立てるまでのこ

とで、きない高校が多いことから、

よりよい教育環境を取り戻す

歩みをやめるわけにはいかな

いことをアピールさせていた

だきました。学校によってお

かれている状況は様々ですが、

県内のPTA会員全員が力を

結集し、あきらめず歩み続

けていかねばならないという

気持ちを新たにした大会とな

りました。

第一原子力発電所事故の影響が残る中での開催であり、特

段の努力をいただきました関

係者の皆さんに厚く御礼申し

申しあげます。

研究協議発表は各県一校の

六校で行われ、研究テーマに

沿って発表と討論が行われま

した。福島県からの発表は

「震災に負けないふくしま、

そして相双」というテーマで、

平成二十三年度のPTA活動

の現状を報告させていただき

ました。原町高校が経験した、

福島県沿岸部におけるコム

ニティの喪失を含めた被害の

状況、自校での教育活動が困

難となつたため、他校や公共

施設を間借りする形で授業を

行なうサテライト校方式による

授業実施の様子、家や街、イ

ンフラといった私たちの生活

の基盤が大きく失われ、PT

A活動のための会費の徴収も

困難な状態が続いたため、活

動自体についても最低限必要

のものに限定して行うことと

し、役員も緊急体制の形で対

応した様子などを報告しま

した。

そのうえで、相双地域では

栄光の記録

国体・高校総体・定時制通信制体育大会・高文連全国大会

第67回 国民体育大会

●陸上競技

山下 航平 橋高等学校
少年男子A三段跳 1位

伊藤 丈晃 福島高等学校
少年男子B走幅跳 4位

●水泳

鈴木 鮎 大日大東北高等学校
少年男子A200m背泳ぎ 7位

●馬術

宮野将太郎 勿来工業高等学校
少年自由演技馬場馬術 8位

●ウエイトリフティング

近内 三孝 田村高等学校
少年男子56kg級スナッチ 3位

少年男子56kg級C&J 7位

村松 大生 福島工業高等学校
少年男子62kg級C&J 6位

●レスリング

湯田 雅暉 田島高等学校
少年男子フリースタイル66kg級 3位

大竹真南斗 田島高等学校
少年男子グレコローマンスタイル 74kg級 5位

猪股樹希亞 田島高等学校
少年男子グレコローマンスタイル 96kg級 5位

湯田 光 田島高等学校
少年男子フリースタイル50kg級 5位

小椋 慎也 田島高等学校
少年男子フリースタイル84kg級 5位

●自転車

佐々木堅次 白河実業高等学校
少年男子ポイントレース 4位

吉田 優樹 学法石川高等学校
少年男子個人ロードレース 6位

●ボウリング

大河内未来 福島東陵高等学校
少年女子個人 6位

●ゴルフ

武尾 咲希 会津学鳳高等学校
女子 8位

●バドミントン

桃田 賢斗 富岡高等学校
松居圭一郎 少年男子 2位

保木 卓朗

●ソフトボール

福島選抜 少年男子 3位

●ボート

佐々木 幸 田村高等学校
橋本 珠美

少年女子ダブルスカル 8位

平成24年度 全国高等学校総合体育大会

●ソフトボール

郡山北工業 男子 5位

●バドミントン

富岡高等学校 男子団体 2位

桃田 賢斗) 富岡高等学校

松居圭一郎) 男子ダブルス 2位

保木 卓郎) 富岡高等学校

小林 優吾) 男子ダブルス 5位

桃田 賢斗 富岡高等学校

男子シングルス 1位

小林 優吾 富岡高等学校

男子シングルス 2位

富岡高等学校 女子団体 1位

早川佐保里) 富岡高等学校

早田 紗希) 女子ダブルス 5位

大堀 彩 富岡高等学校

女子シングルス 3位

●ボート

小澤 志佳 西会津高等学校

女子シングルスカル 6位

●自転車競技

学法石川高等学校
4kmチームパーシュート 7位

吉田 優樹 学法石川高等学校
3kmインディヴィデュアルパーシュート 6位

佐々木 憲次 白河実業高等学校
24kmポイントレース 5位

緑川 裕也 学法石川高等学校
スクラッチ 7位

●ウェイトリフティング

佐藤 駿太 福島明成高等学校
53kg級スナッチ 8位

●ボクシング
小林 敬史 会津工業高等学校
ウェルター級 3位

●フェンシング

佐々木 陽菜 福島成蹊高等学校
女子サーブル 5位

●レスリング

湯田 光 田島高等学校
50kg級 3位

●カヌー

三浦 混生 安達高等学校
男子カヌースプリント

カヤックシングル500m 5位

三浦 混生
菅野 寿斗 安達高等学校
男子カヌースプリント

カヤックペア200m 7位

男子カヌースプリント
カヤックペア500m 6位

三浦 混生
村松 巧雅
沖田 富栄

菅野 寿斗 安達高等学校
男子カヌースプリント

カヤックフォア200m 8位

男子カヌースプリント
カヤックフォア500m 8位

斎藤 真
武田 慶紀
塙谷 優太

服部 拓斗 二本松工業高等学校
男子カヌースプリント

カナディアンフォア200m 5位

平成24年度

全国高等学校定時制通信制体育大会

●陸上競技

玉木 雅 郡山萌世・定
女子走幅跳 3位

山ノ内 みなみ 郡山萌世・通
女子800m 1位

女子3000m 1位

●柔道

田中 優希 東日大昌平高等学校
男子中量級 5位

平成24年度

高文連専門部全国大会(個人)

●第36回全国高等学校総合文化祭

書道部門 特別賞

高島 誠生 福島高等学校

特別賞 只野 玲香 相馬東高等学校

放送部門 アンウンス部門

優秀賞 五十嵐理紗 喜多方高等学校

審査員特別賞 沼能奈津子 原町高等学校

放送部門 朗読部門

優秀賞 石井ひかる 磐城桜が丘高等学校

小倉百人一首かるた部門

読手コンクール優秀賞

橋本 晴香 安積黎明高等学校

優秀賞 菅家ひかる 奈良県立農業高等学校

入選 沼能奈津子 原町高等学校

入選 菅家ひかる 奈良県立農業高等学校

入選 沼能奈津子 原町高等学校

朗読部門

入選 坂本紫緒里 磐城桜が丘高等学校

入選 高山風優香 原町高等学校

●第25回全国高等学校将棋竜王戦

福岡大学学長杯争奪トーナメント

優勝 大平 駿悟

郡山萌世高等学校

●第66回全国高等学校弁論大会

奨励賞 遠藤 広樹

会津高等学校

●第60回全国高等学校決勝弁論大会

個人の部

優勝 永崎 望未

郡山女子大学付属高等学校

●第63回日本学校農業クラブ全国大会

農業鑑定会

園芸

優秀 斎藤 瑞記

福島明成高等学校

優秀 八代 祐弥

岩瀬農業高等学校

食品科学

優秀 近野沙央理

福島明成高等学校

農業土木

優秀 瀬和 浩一

岩瀬農業高等学校

造園

優秀 鈴木 武志

会津農林高等学校

●第59回全国高等学校珠算・簿記競技大会

珠算部門

総合競技

佳良賞 大野 真也

郡山商業高等学校

伝票算競技

第2等 水野 聖華

郡山商業高等学校

応用計算競技

佳良賞 水野 聖華

郡山商業高等学校

佳良賞 大野 真也

郡山商業高等学校

読上暗算競技

第3等 高橋 秀典

小名浜高等学校

読上算競技

佳良賞 高橋 秀典

小名浜高等学校

電卓部門

総合競技

第2等 富山 幸奈

郡山商業高等学校

伝票算競技

第2等 富山 幸奈

郡山商業高等学校

第2等 大柿 里紗

郡山商業高等学校

応用計算競技

優勝 大柿 里紗

郡山商業高等学校

第2等 武田 佳織

郡山商業高等学校

第3等 富山 幸奈

郡山商業高等学校

●第28回全国高等学校簿記コンクール

優秀賞 舟田あかね

若松商業高等学校

優良賞 佐藤つくみ

若松商業高等学校

佳良賞 高橋 莉奈

若松商業高等学校

●平成24年度全国簿記電卓競技大会

優勝 舟田あかね

若松商業高等学校

準優勝 浅野 夏菜

若松商業高等学校

第3位 坂口莉緒奈

若松商業高等学校

●第59回国際理解国際協力のための高校生の主張コンクール

日本ユネスコ協会連盟会長賞

遠藤 広樹 会津高等学校



国立競技場のそよ風

郡山萌高

全国大会 栄光を称えて

いう余計な心配までしていませんでした。レース本番の日、メンバーアイスタンドの一番上で心地よい風に当たっていると、「楽しく走りなよ」とそよ風の声が聞こえたような気がしました。そして、本番のレースは思ったより快走でき、大会新記録を更新することができます。競技後、一緒に走った選手から「感動したよ」と声をかけられました。私はこの競技を通して楽しく走ることの大切さを確信し、これからも楽しく走り続けようと思いました。

張った。後は思いっきりこの時を楽しむだけだ。さあ行くぞ！」目を開き会場を見渡すと保護者や先生方、富岡町・猪苗代町の方々が多数応援に駆け付けてくれていました。「私は一人ではない。たくさんの方の仲間と、そして応援してくださる皆さんとともにこの場に立っているんだ。」そう感じた瞬間頭が熱くなりま

私たち富岡高校女子バドミントン部は、永年の悲願であつたインターハイ学校対抗戦で初優勝を果たすことができました。決勝戦の前、コート上で全員で手をつなぎ目を閉じました。監督から「ついに最高の舞台にたどり着いたな。この瞬間にたどり着くまでの間、色々あつたけど皆よく頑



誇り

富岡高校女子バドミントン部
主将 大堀 優



苦難を乗り越えて

東日本大震災・原発事故などにより、私はたくさんのものを失いました。しかし同時に「仲間」というかけがえのないものを得ることができました。その仲間とともに富岡高校で日本一になれたことを

張った。後は思いつきりこの時を楽しむだけだ。さあ行くぞ！」目を開き会場を見渡すと保護者や先生方、富岡町・猪苗代町の方々が多数応援に駆け付けてくれていました。

「私は一人ではない。たくさんの仲間と、そして応援してくれる皆さんとともにこの場に立っているんだ。」そう感じた瞬間目頭が熱くなりました。

その後、試合のことや優勝した瞬間のことはあまりよく思い出せません。しかし思いっきり楽しかった記憶だけは残っています。きっと仲間を信じ、そして自分の歩んできたプロセスを信じることができたからです。

私は岐阜県で開催された国民体育大会の陸上競技少年男子A三段跳に出席し、優勝することができました。

振り返ると、疲労による腰痛でシーズンの初めは思い通りに練習ができず、優勝を目指してシーザンのインターハイで挑んだ夏のインターハイでは予選落ちてしまうなど、自分や先生にとっても苦しい時期が続きました。しかし、次の国体に向け練習計画を立て、それをしっかりとこなせることで、またまた優勝することができます。

磐城高校 佐藤 亮輔



もちろん優勝できたのは、仲間や顧問の先生、応援してくださった全ての方のおかげです。この場を借りて心から感謝いたします。最後に、私たちの後輩がこれからも全国大会で活躍してくれることを願っています。



世界への挑戦！

郡山北工業高校

を編成し、位置情報を自動発信し、利用者がスマートフォンなどで受信すると地図上にその位置を示す「ココあるっちゃん」という製品を開発しました。その実用性や利用範囲の発展性が高く評価され、国内予選では大大学院生などが出場する中、初出場で第一位に選ばれました。世界大会は、高



校生チームは我々のみで、言葉の壁はありました。技術面ばかりでなく、世界中の方と交流できたことは貴重な経験となりました。来年の世界大会は、スペインのバルセロナです。後輩には、郡山北工業高校の良き伝統になるように、世界へ向けて挑戦してほしいと思います。



全国簿記電卓競技 大会で優勝して

若松商業高校 簿記研究部
部長 舟田 あかね

みんなで 勝ち取った日本一！

郡山商業高校
珠算部 大柿 里紗

全国簿記電卓競技大会に出場し、簿記部門において、団体・個人共に優勝することができました。

全国優勝を目指す中もひたすら地道な練習を続けてきました。スランプもあり、正直辛いと感じることは何度もありましたが、その度にいろいろな方々に助けられました。

この大会を通して、努力は絶対に裏切らないことを身を持つて学びました。そして、一緒に練習を続けてきたメンバーや仲間、先生方、先輩、後輩、家族など多くの方々に支えられて今回の結果を出せたのだと痛感しました。支えて下さった全ての方々に心から感謝しています。

結果発表のとき、若商の名前が呼ばれたときは、本当に信じられない気持ちでいっぱい、目標を達成することができるとても嬉しかったです。



会でも好成績を残し、今年こそ日本一を取るために朝練や昼練、放課後も練習しました。また、週末は合宿や群馬県への遠征、春休み、夏休みは九州や青森県などにも遠征に行きました。

今回の日本一は、遠征に連れて行ってくれた先生や厳しい練習メニューを考えてくれました。結果発表のとき、若商の名前が呼ばれたときは、本当に信じられない気持ちでいっぱい、目標を達成することができるとても嬉しかったです。



全国家庭クラブ研究発表大会 文部科学大臣賞を受賞して

福島北高校 家庭クラブ
会長 白岩 美郷

私たち珠算部は、第五十九回全国高等学校珠算・電卓競技大会電卓部門の応用計算競技において日本一を勝ち取ることが出来ました。先輩たちは、昨年の全国大

震災後、猛暑と電力量の消費削減が問題視されたことから、エコ活動と熱中症予防の研究を行いました。エコ活動を推進するキャラクターを考え、節電・節水を呼びかけました。「エコスポーツの素」と「クールエコタイ」を考案・

普及し、校内及び地元の幼稚園児との絆を結び熱中症予防に貢献しました。エコ活動を継続的な研究と普及活動、全校生で取り組む実践活動が認められ、文部科学大臣賞及びクラブ員奨励賞を受賞すること



全日本合唱コンクール 全国大会に参加して

安積黎明高校 合唱部
顧問 宮戸 真市

去る十月二十七日、鹿児島市の鹿児島市民文化ホールで第六十五回全日本合唱コンクールが開催され、当合唱団は、B部門（三十二人以上の部）に東北代表として出場しました。

今年は、團が鈴木輝昭氏に新たに委嘱した新曲『蛇性の姫』を演奏しました。古典の『雨月物語』を題材とした演劇的要素の強い難曲でしたが、生徒たちは、ひたむきな姿勢と音楽を追究する飽くなき向上心で、全員が一丸となつて練習に励みました。コンクール本番では、女声合唱の新たな世界を存分に表現した見事な演奏で、心から幸せな瞬間を皆で共有することができました。結果として、三十三年連続金賞並びに鹿児島県教育委員会賞を受賞することができました。

これまで応援してくださったご父兄の皆様、地域の方々のご支援とご協力に深く感謝いたします。今後も生徒たち

ができ、喜びと感動でいっぱいです。今後も家庭クラブ活動を通して多くの方々との絆を深めていきたいと思います。

後編集



とともに、さらに良い活動ができるよう努力してまいりますので、変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願ひします。

未會有の災害から間もなく、二年が経とうとしています。しかし「東日本大震災並びに原発事故に關わる高校教育早期正常化対策」についての要請活動を本紙でも報告しているように、その途は半ばです。復興と教育現場の正常化が一日も早くなされることを祈念いたします。

さて、本二十九号を編集するに当たり、お忙しい中多くの方々から玉稿を頂き、また編集方針について調査広報委員会で貴重なご意見を頂きました、深謝申し上げます。

会津高校 濱井祥雄